～区役所の予算編成の流れ～

地域のニーズ・課題

- 市民からの提案
- 各種モニター、アンケート調査等
- 職員の日常的な広聴
- 区民会議、各種団体等
- 独自の広聴事業など

区役所

地域のニーズ・課題の把握

区の課題整理

区が対応する課題
- 地域特有の課題
- 区民との協働で解決する課題

など

局が対応する課題
- 区だけでは解決できない地域の課題

など

個性ある区づくり推進費の編成《市民局予算》

＜区編成予算＞

- 自主企画事業費
  - 地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費
- 区庁舎区民利用施設管理費等
  - 区庁舎、区民利用施設の管理費や18区共通して実施している事務事業費

≪参考≫区役所での編成の流れ

財政局 →（財源配分）→ 市民局 →（財源配分）→ 区役所（区総務課／要求・審査／A課・B課）→（報告）→ 市民局 →（報告）→ 財政局

局への事業提案《各局予算》

＜日常的な調整＞
区局の所管課同士による、日常的な情報のやり取り

＜区提案反映制度＞
区だけでは対応が困難な課題を解決するために、区から局へ予算や制度等を提案し、反映する仕組み

≪参考≫区・局 及び 市民局の連携

① 地域の課題や要望の情報共有
② 区局間の調整
③ 区と局の連携による課題解決の検討

区役所 ⇔ 所管局
↕ ↕
市民局

区提案反映制度の全体調整
（事務局）

市長による予算案の編成・市会への提出

市民局予算の一部

各局予算説明

市会での予算審議 ⇒ 可決・成立

- 個性ある区づくり推進費の予算執行
- 区への予算再配当による区での執行
- 局での執行

地域の課題解決

個性ある区づくり推進費創設の趣旨

①地域の総合行政機関として、区役所の自主性を高めること
②地域のニーズに的確に対応し、個性ある区づくりを推進すること
③地域的、個別的、緊急的ニーズに迅速に対応すること

区における予算説明の場

＜区づくり推進横浜市会議員会議＞
区と各区選出市会議員が、個性ある区づくり推進費、及び必要に応じ区の主要事業について協議する場

○6月頃	・当該年度執行計画
○9月頃	・前年度執行実績 ・当該年度執行状況 ・次年度予算編成の考え方
○2月頃	・次年度予算案の概要